

STEM REPORT コスモ PA 2021.7.2 FRI

7月2日（金）6，7限、コスモサイエンスコース2年生 第1回PAとして
自然科学研究機構による授業②「分子科学研究所」を実施しました。

分子科学研究所 加藤 晃一（かとうこういち）先生に来校いただき
「糖鎖～第三の生命鎖～」というテーマで講義していただきました。

DNA・タンパク質に加えて、生命現象に大きな影響を与えている生命鎖のひとつである糖鎖。細胞の表面に密生して細胞の顔と呼ばれることも。糖鎖のほんのわずかな部分があるかないかで細胞どうしの結合に100倍の違いが出るそうです。しかし、タンパク質と違い設計図がない（あるかどうか分からない）、構造解析が困難、など未知な部分も多いとのこと。まだまだ解明されていない生命現象に思いを馳せる2時間となりました。加藤先生、ありがとうございました。



ゴルジ体によって糖鎖は出てくる
糖鎖はタンパク質の運命を決める



生命創成探究センター
(ExCELLS) での研究

受講生の声：生物基礎で学んできたこととも少しリンクしていて関心が高まった。

糖鎖のタンパク質へ与える影響をととても大きく感じた。

生きているとは何かという定義についての話もすごく興味深く「確かに」と思うことがたくさんあった。

糖鎖も薬学の研究なのだ、と思ったら興味深かった。